

オリンピックを中止し、コロナ対策に全力を尽くせ!!



5 / 17 北川副区長に申し入れ書を提出

3 回目の緊急事態宣言が、延長される中、本日から75歳以上のワクチン接種の予約がはじまりました。政府と都は、場当たり的な対応を繰り返していたさらに感染拡大を許す一方、オリンピックの開催に固執するという異常さです。これでは、国民、都民、住民の命と暮らしを守ることはできません。いのちと暮らしを守る方策を求めました。

1、東京オリンピック、パラリンピックについて

- ①政府と東京都に対し、東京オリンピック、パラリンピックの中止を直ちに決断することを求めること。
- ②東京都に対し、児童生徒を動員する学校観戦は、直ちに中止するよう求めること。
- ③区は学校観戦を返上すること。

2、ワクチン接種を迅速にすすめるために



- ①ワクチン接種の予約のために「予約サポート会場」「支援員」など配置。
- ②身近な医療機関での個別接種、訪問接種などを可能なところから実施。
- ③接種会場に行くことが大変な方に、「送迎」「タクシー代補助」など具体化。
- ④予防接種の点字案内や予約、接種の実施などに際して「合理的配慮」を徹底。

3、検査の徹底と医療支援について

- ①東京都に対し、定期的検査は対象を抜本的に広げること。
- ②東京都、区として「いつでも誰でも何度でも」無料検査を実施すること。
- ③変異株による感染拡大に対し、区として学校、保育園、児童デイなど子育て関連施設での検査を実施すること。
- ④東京都に対し、変異株の検査は全ての陽性検体に対して行うよう求めること。
- ⑤都立病院と公社病院の地方独立行政法人化を直ちに中止するよう求めること。
- ⑥コロナ患者を受け入れていない医療機関も含め経営支援のための財政援助を行うよう求めること。
- ⑦自宅療養者への往診等の医療支援の取り組みをさらに強化拡充すること。

4、事業者への支援について

- ①事業者向けの関連支援制度（国、都、区など）をまとめたわかりやすいリーフレットを作成して配布すること。
- ②政府に対し、持続化給付金、家賃支援給付金などの制度を再度実施を求めること。
- ③東京都に対し、直接、間接に影響を受けるすべての事業者に対する支援を行うこと。
- ④区として事業継続支援のための補助制度を直ちに創設し実施すること。

5、くらし応援について

- ①国民健康、介護保険など保険料、住民税のコロナ関連減額免除制度について、引き続き実施すること。
- ②生活保護申請にあたっては、扶養照会を行わないこと。 など要望。

※翌日、区の新型コロナ対策本部が新たな対応を発表。(2面を見てください)



区政区議会報告・地域情報を週刊で発行しています
日本共産党荒川区議員
小林行男
ご意見をお寄せください

区政ニュース

NO. 817

2021. 5. 23

区議会控室

TEL 3802-4627

FAX 3806-9246

Email: arajcp@tcn-catv.

ne.jp

ホームページ

<http://www.tcn-catv.ne.jp/~jcpa/>

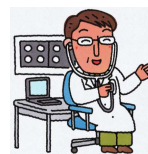
jp/~jcpa/

東尾久相談室

東尾久2-37-3

TEL・FAX

3895-0508



東京五輪・パラ 子どもたちが危ない

荒川区でも競技観戦に

幼稚園の5歳児、小中学生が競技観戦に動員!



大会組織委員会は、子どもに競技を観戦させる「学校連携観戦」を推進しています。オリ・パラ教育の一環に位置づけ、チケットを用意。費用を東京都など自治体が公費で負担し、各校に割り当てられています。もともとこの計画は新型コロナが感染拡大する前の2019年から計画され、当時でも熱中症対策など集団行動に疑問も投げかけられていましたが、現在のコロナの観戦リスクは全く考慮されていません。

競技場への移動は電車やバスなど公共交通機関を利用することとされています。変異株が猛威をふるっている中でワクチン未接種の子どもたちが「密」になっての移動です。**都は予算を約43億円計上。**ただちに中止すべきではないでしょうか。

法律相談会



毎月第3火曜日（午後6時から）北千住法律事務所の弁護士による法律相談会をおこなっています。できるだけ事前にご連絡ください。

**6月の相談会は
6月15日（火）**

尚、お急ぎの方は、弁護士事務所にて、ご相談できますのでお気軽に声をかけてください。

新型コロナ・ワクチン接種予約、初日で13000人が登録

区のワクチン接種方法の概要

(1) 接種の優先順位及び対象者数

①65才以上の高齢者	50,143人
②高齢者以外の基礎疾患を有する方	17,143人
高齢者施設等従事者	3,465人
③それ以外の方	112,585人

(2) 接種方法

- ①高齢者 ○施設入所者への施設内接種
○大規模会場による集団接種
○在宅要介護者等の自宅への「訪問接種」

※これらを組み合わせて7月末までに完了の見込み

(3) 基礎疾患を有する方のよく・接種方法

区の相談センターに申告することで、先行して接種券を送付し、予約を取れるようにする。

(4) 高齢者施設等従事者の予約・接種方法

区が把握している施設従事者及び区の相談センターに申告のあったものに先行して接種券を送付し予約がとれるようにする。

(5) 予約受付方法と混雑対策

電話およびオンラインで受付
電話120回線確保、予約専用サイト1分当たり最大150万アクセスに対応可能に



混乱が心配された75才以上のワクチン接種の予約は、初日の17日に対象者約25000人に対して半分以上の13000人の方が予約をすまされました。

接種会場によって申込者のアンパランスがあり、サンパール荒川やムーブ町屋では、6月13日まで受け入れ終了で受付が当面ストップしました。ワクチンは必要数確保されていますので他の会場か日を伸ばして予約を取るようしてください。

区は新たに在宅要介護者の自宅での「訪問接種」を行うことを発表しました。

今後の接種スケジュール(予定)

	5月	6月	7月	8月	9月～
高齢者施設入所者	5月10日～				
75才～	5月24日～				
集団	65才～74才	6月上旬～			
64才以下基礎疾患・		6月上旬～	7月上旬～		
接種	高齢者施設等従事者	事前深刻→接種券発送			
64才以下					
上記以外			7月下旬～(調整中)		
訪問接種		6月中旬～(調整中)			
個別接種			7月上旬～順次実施(調整中)		

予約などお困りごとがあれば、ご連絡ください。できるお手伝いはします。 小林行男

コロナワクチン接種の経費・運営はどうなってるの？

新型コロナワクチン接種経費	
接種会場運営:(株)JTB委託	3億5600万円
医師派遣:(株)MRT委託	1億4000万円
看護師派遣:(株)MRT委託	2億7200万円
医師会委託	5億6000万円
コールセンター予約システム	
(株)両備システムズ委託	2億1000万円
集団接種会場使用料	8000万円
郵送・電話・消耗品等	3700万円
注射器等廃棄物処理費	1200万円
計	約16億6千万円

荒川区でのワクチン接種にかかわる経費は、約16億6千万円(全額国費)となり、その内訳は先の通りです。

旅行会社が接種会場の運営に

旅行需要が大きく落ち込む中、ワクチン接種業務に大手旅行会社(JTB・日本旅行・近畿日本ツーリストなど)が予約の受付や接種会場の運営などの事務を自治体から受託する動きが広がっています。荒川区もJTBに委託しました。

看護師派遣も民間に



荒川区は医師・看護師の派遣を(株)MRTという会社に委託しました。この会社は2000年に開設。ホームページをみると右記のような事業内容が掲載されています。民間の力も借りる必要があると思いますが、緊急時でも対応できるように余裕をもった医療体制が必要ではないでしょうか。

事業内容

医療情報のプラットフォームの提供

- 1, 医療及び看護師等の職業紹介
- 2, 医療機関の開設及び運営のコンサルティング
- 3, 医師が発信するオウンドメディアの運営
- 4, 医局向けグループウェアの運営
- 5, 遠隔診療、健康相談サービスの運営



○建設アスベスト訴訟で最高裁は国と企業の責任を断罪し、救済することを明確に求めた。国は救済制度などをつくることに。1972年にWHOが発ガン性を指摘し、欧州では段階的に使用禁止となったが、日本は74年は輸入量がピークに、製造・使用が原則的に禁止されたのは2004年。あまりにも後手後手にまわり遅すぎた。

